

西光寺だより

第二五二号 令和五年 三月一日発行

先月号からご案内していた四月二日の京都西本願寺で厳修されます団体参拝ですが、おかげさまで申込人数に達したため、締め切りさせて頂きます。皆様ありがとうございます。

■今月のカレンダー■

ここに じごくがあるよ ひにちまいにち ほのをがもえる

私たちは、いつまでも若々しく、健康で幸せな人生を送りたいと思っています。健康に気をつけ、お金も蓄え、子供にも勉強をさせ、安定した将来のためにと努力しています。

しかし、人生には予期せぬ出来事、思い通りにはいかないことがたびたび起こります。

ここ数年、新型コロナウイルスの脅威の中で全世界が恐怖を味わっています。また、東日本大震災や熊本大地震、毎年のように続く豪雨災害。いつ起こるか分からない自然の脅威には全く無力な私たちであります。

また、「平和」の願いに反して、民族間の対立、信ずる宗教の違いや思想の違いからの対立、人間同士の反目が、テロや戦争を引き起こします。ロシアのウクライナ侵攻は記憶に新しいことであります。

まさに何が起こるか分からないのが世の中です。そんな中、私たちはどのような生き方をしているのかをしっかりと問わねばなりません。

『歎異抄』に、

「さるべき業縁のもよほさば、いかなるふるまひもすべし」(『註釈版聖典』八四四頁)

「人はだれでも、しかるべき縁がはたらけば、どのような行いもするものである」

とありますが、これが私たちの本来の姿です。

私にとって都合の良い縁に恵まれると、法律や道徳を守り、世間体を気にして善人らしく振る舞ってはいませんが、いったん予期せぬ都合の悪い縁に出あったり、思い通りにはいかないことがあると、たちまち様子が変わり、恐ろしいことを体でも起こしてしまう弱い存在が私たちです。

「売り言葉に買い言葉」という言葉があるように、相手の予想もしなかった言葉に激高し、些細なことから大げんかになり、そして暴力にまで繋がってしまうことは、お互いの人生の中で経験したことがあるのではないのでしょうか。

最初からわが子を虐待しようと思う親はいないでしょう。要因の一つに「子育てが思い通りにいかない」ということがあり、虐待という事態を引き起こします。また、お金に困った状態になると、「こんなはずではなかった」とさまざまな犯罪を引き起こしてしまうのではないのでしょうか。

罵声が飛び交い暴力が日常茶飯事となり、虐待や犯罪が頻繁に起こる状況を「じごく(地獄)」というならば、それを引き起こす原因は私の心の弱さにあると言わざるを得ません。

阿弥陀さまのご本願は、そういう弱い存在である私たちのために建てられました。

「どうか何が起こっても不思議ではないのが世の中だと知っておくれ。またその中で何をすべきかわからないのが自分だと気づいておくれ」と呼びかけて下さいます。

そのような阿弥陀さまの呼びかけ、すなわちご本願を、心に刻んで生きていきたいと、思うことであります。

◆先月の報告◆

二月二十六日(日)西光寺本堂にて「産廃ワークショップIN西光寺」というイベントが開催されました。企画は茨木市市民活動団体のエシカリズムさん。人にも環境にも動物にも優しい地球のあり方を身近なところから循環させていこうと活動されています。

今回は、毎月開催されている「ぐるり」という0円交換会も西光寺駐車場にて実施されました。不要だったモノが誰かの必要なモノになるという考えのもと、今あるものを無駄にせず楽しくシェアしていくという取り組みの一つです。本堂内ではフードパントリー茨木代表の宮野さんより私たちの出しているゴミがどのようなになっているかのお話を聞き、集まった皆さんでワークショップを行いました。様々な意見がありました。やはり見つめ直すべきは他の誰かではなく自分自身のあり方なのではないかと感じます。

西光寺からは、住職よりお寺の説明や命の繋がりのお話をさせて頂きました。皆さん真剣に耳を傾けて下さり、こうやって地域の人々が集い、繋がり、共有しそれぞれが穏やかな気持ちになれるようなお寺でありたいと改めて感じました。エシカリズムの皆さん、ご参加の皆さま西光寺にお越し頂き、ありがとうございました。今後このような地域に皆さまと共にあるお寺づくりに努めてまいります。



◆三・四月の行事◆

三月 二〇日(月)

仏教婦人会追弔会・総会

午後一時 ～ 追弔会・総会

西光寺本堂

四月 二日(日)

親鸞聖人御誕生850年・

立教開宗800年慶讃法要

午後二時～

京都西本願寺

四月 十四日(金)

追弔会・春季永代経法要

午後二時～

西光寺本堂

◎御講師 岡 玲 師 (善照寺住職)

※昼のみ、お勤めとご法話があります。